

日野宿発見隊 通信

発行／日野宿発見隊（日野図書館内）

TEL 042-584-0467

第二十号

スタンプラリー in 日野宿 2022 (第102弾)

令和4(2022)年5月7日(土)、3年ぶりに本物の”ドデカスタンプ”を使った「スタンプラリー in 日野宿 2022」を開催しました。

心配された天気も何とかもつてくれ、スタンプ帳を購入していただいた方だけでも475名でした。小さなお子さん連れの参加が多く見られ、実際の参加者は1000人を優に超え久しぶりのほどよい賑わいとなりました。コロナ禍で日常生活にさまざまな制約が課せられるなか、日野宿の魅力に触れる楽しいひとときとなったとしたら誠に幸いです。

なお、今回の開催にあたり、スタンプポイントのスタッフとして、個人ボランティアの皆さんのほか、地域の自治会、商店会、企業、日野第一中学校、大坂上中学校、日野高校の生徒の皆さんや教員の皆さん、ひの児童館で活動

する大学生の皆さん、東京ヘリテージマネージャーの会など、約100名の方のご協力をいただきました。また、スタンプポイント場所を提供していただいた皆さんをはじめ、備品等を快くお貸しいただいた皆さんにも大変お世話になりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



日野駅受付



日野駅西日野煉瓦橋

また、日野駅ポイントでは、ロシアによるウクライナ侵攻にともなう難民の皆さんへの人道支援を目的とした募金活動を合わせて行いました。募金額は29,245円でしたが、振込の都合で3万として国連難民高等弁務官事務所に寄付させていただきました。ご協力いただきました皆さん誠にありがとうございました。

夏休み！親子で調べよう日野用水 (第103弾)

同年7月23日(土)新東光寺地区センター前の用水で「夏休み！親子で調べよう日野用水」を開催しました。

参加者は9組の親子(子ども10名、大人11名)とスタッフ8名(うち事務局2名)、計29名でした。

大変日差しが強い日になりましたが、用水に沿った街路樹の木陰と、水辺に吹くささやかな風が心地良く、水量は比較的少なめで、子供たちが水に入る催しには好ましい状況だったと思います。

イベントの開始直前に、水路の様子を見ていた隊員が、偶然モクズガニを発見し、捕獲に成功しました。

参加者の皆さんも「こんなに大きな蟹がいるんだね」と、驚いていました。

なお、今回捕まえた生き物は、モクズガニのほか、カマツカ・カワムツ・オイカワ・ザリガニ・ヤゴ・スジエビ・カワニナなどでしたが、今年もバスが捕獲されましたので、こちらは可哀想でしたが処分し、そのほかの生き物はすべて用水に放しました。



かなり大きなモクズガニにびっくり!

「スタンプラリー in 日野宿 2023」開催予定

来る5月13日(土)に、「スタンプラリー in 日野宿 2023」を開催予定です。

昨年に引き続きリアルなスタンプラリーを予定していますが、新型コロナウイルス感染状況によっては、「デジタルスタンプラリー」に変更する場合があります。どうぞご了承ください。

なお、開催にあたっては感染拡大防止に十分注意致します。

八坂の祭り写真展（第104弾）

令和4年もコロナ感染症対策として八坂神社の神輿渡御は中止となりましたが、日野宿発見隊では恒例の八坂の祭り写真展を9月いっぱい開催させていただきました。今回も八坂神社の玉垣と南側フェンス及び森町消防器具置場壁面と竹間家駐車場フェンスに、明治期から令和3年までの写真、計71点を展示しました。また、9月10日（土）からは日野駅駅舎（旧たい焼きガラス壁）にも4枚展示しました。

未だにコロナ感染に翻弄され続ける状況ですが、このひと月、懐かしい祭りの写真をご覧いただき少しでも気を紛らわしていただけたとしたら幸いです。



八坂神社裏のフェンス

第18回子ども発見隊

「行灯をつくろう」(第105弾)

同年12月17日（土）午後3時から日野市中央公民館講座室にて前年に続く2回目の「行灯をつくろう」を開催しました。2か月の赤ちゃんを連れた母娘を含む7組（母娘連れ・3組 父娘連れ・4組）が参加してくれました。加藤講師の指導のもと、まず、あらかじめ組み立てられた木枠に貼る半紙に、水彩やクレヨンなどで「来年の干支のうさぎ」など各組思い思いの絵を描いてもらいました。



子どもたちは、短い時間にもかかわらず、お父さんやお母さんといっしょになって楽しそうに描いていました。この後できあがった絵を木枠に糊付けるのですが、これがちょっと一苦勞。でもみなさん手をとりあ



普門寺境内

って上手に完成することができました。一生懸命に取り組むみなさんの姿がとても微笑ましかったです。

それからできあがった行灯をお隣の普門寺にもっていき、灯り（LED）をともしたうえで、夕闇迫る本堂前にそれぞれセッティングし記念撮影させてもらいました。師走のせわしないこの時期ですが、行灯の幻想的な趣にしばしの安らぎを覚えたのは私だけじゃなかったようで、翌日撮影した写真を見ると、灯りがともされた厳かな本堂からご本尊さまも目を細めてご覧になっていたようです。

「親父の話」有山至さんが、父・有山崧（たかし）さんを語る（第106弾）

同年11月5日（土）の昼下がり、カフェ花豆に、18人が集まりました。迎えてくれたのは、このカフェを営む有山至さん敬子（ゆきこ）さんご夫妻。



日野宿発見隊が、元日野市長有山崧さんについて、息子の至さんからお話を聞きたいとお願いして実現したものです。

有山崧さんは、昭和40（1965）年9月21日、日野市立図書館が移動図書館ひまわり号1台でスタートしたときの市長。初代館長の前川恒雄氏（令和2年4月10日没）とともに、その後の公共図書館のあり方を大きく変えた人です。

有山崧さんを間近で見つめてきた至さんは、「今でも父親が大好き」と話されました。二人でよく飲み歩いたこと、進路で迷ったとき背中を押す言葉をくれたこと、市民のために見えないところでも尽力していたこと。有山崧さんは、昭和44（1969）年3月16日、57歳で亡くなりましたが、そのお人柄は、息子である至さんに引き継がれ、多くの人を支えています。なお、この模様はYouTubeで公開中です。